



ぱいおん通信

学ぶ楽しさ、知る喜びを伝えたい
パイオン総合教育研究所

第161号

2017年(平成29年)



倉敷市西高井1225-16
TEL.(086)427-7521

E-mail:pione@aid2005.com

春がきた!!

新年度です。新1年生の皆さん、進級された児童・生徒の皆さん、おめでとうございませう。

待ち遠しかった春がやって来ました。太陽の輝きが木々や草花をいつそう明るくしているように思えます。足高山の桜もきれいに咲き誇っています。

SMAPの「世界に一つだけの花」ではありませんが、どの花も精一杯自分の花を咲かせています。私たちが誇らしげに自分の花を咲かせる努力をしていきましよう。

光田 嘉文

人生いろいろ、色もいろいろ!! (No.1)

前向きな人生を自分らしく生きる為に...

皆さん、春と言えば、桜、ピンク、菜の花、黄・緑と色を通して四季を感じて新たな気持ちになり、空や海を見て心が晴れて穏やかな気持ちになれるものです。私たちの心と体には光のエネルギーが重要とされるバランスを保つには色彩エネルギーが重要とされています。心と体の状態は目と肌から光と色を吸収して心身の状態が改善されるというわれています。心・個性を色という形にすることで真の自分ととるべき道を知ることができ、自分や人を好きになり、大切にすることができるようになります。

次回はお色から皆さんへのメッセージをお届けしていきますので、お楽しみに☆
妹尾 誉子

お花見の季節ですよー!!



4月に入り、段々と暖かくなってきましたね。4月といえば、皆さんはもうお花見には行かれましたか?そもそも日本人はなぜ桜の木の下で宴をするのか今回はお花見の由来と歴史についてお話しますね。歴史は古代神話以前にまでさかのぼり、八百万(やおよろず)の神の中に、山や田の神「サ」神が存在しました。「クラ」とは神が鎮まる座を意味し、サ神がその根元に鎮座したとされる木を「サクラ」と呼ぶようになったということです。サ神を信仰する古代の農民は桜の木に供え物をし、豊作を祈り、宴を行いました。古代では呪術的要素が強い桜の木の下での宴が、奈良時代には花を楽しむための行事と変化しました。平安時代になると桜の気持はさらに高まり「源氏物語」でも宮中での華やかな宴の様子が記されています。花といえば桜、というイメージが定着したのもこの頃と考えられています。鎌倉時代に入ると、貴族の楽しみであった桜の下での宴は、武士や町人の間でも行われるようになりました。京都の寺社や山々に山桜が植えられたのもこの時代といわれています。江戸時代、お花見は庶民の娯楽として定着し始めたそうです。一斉に花を咲かせ、あつという間に散りゆく姿を惜しむように、日本人は今年も桜の木の下で宴をするのでしょね。

宇野 由香里



児童発達支援 放課後等デイサービス

提供時間 14:00~18:00
受け入れ 幼児~高校生

空き状況 <4月1日現在>

ほっとルーム倉敷

月	火	水	木	金	土	日
X	X	△	△	X	X	休

ほっとルーム倉敷Ⅱ

月	火	水	木	金	土	日
X	X	X	△	△	X	休

ほっとルーム倉敷Ⅲ

月	火	水	木	金	土	日
X	△	X	△	X	△	休

ほっとルーム倉敷

「ほっと」するところ
「Hot」なところ
「発達ほっと」できるところ

子どもたち〇△□ 第24回

アスペルガー症候群の特性を持つ子どもは、慣用句や冗談を理解することが苦手で、会話のすれ違いも多くなっています。
例えば、「まっすぐ帰って」と言われたことに対して、「曲がらないと帰れない」と返し、言葉の裏側を理解することが難しいのです。また、敬語を理解することが難しく、場面に応じて調整できないこともあります。成長しても職場などで、年上の人や上司に対しても友だちと同じように対等に話してしまい、トラブルになることもあるでしょう。子どもが意味を間違えて会話が成り立たなくなったら、怒ったり笑ったりせずに、正しい意味を丁寧に教えてあげましょう。

池永 慎一

「バランス&ひも」トレ 第24回

日常生活で効く「ヒモトレ」

お仕事などでパソコンの作業や1日中机に向かっているという方も少なくないでしょう。そこでおすすめなのが『ヒモで肘ラク』です。

- ① 作業を行うのに自然な手の幅がキープできる長さにはヒモを調整します。
- ② かける場所はAでもBでもどちらでも構いません。かけてみてラクに感じる方でOKです。

作業する時に自然にヒモテンションが、かかるようにしましょう。

中村 昭平





児童発達支援・放課後等デイサービス

ほっとルーム倉敷

① “ほっと” するところ

子供さんも保護者の方も心安らかに、心豊かに、過ごせる時間と空間を提供します。

② “Hot(ホット)” などところ

情熱を持った指導員が、優しく温かく指導します。

③ “発途(ほっと)” などところ

発途(ほっと)とは、「出発すること。門出。」という意味があります。子どもさん各人の門出の場所になりたいと考えます。

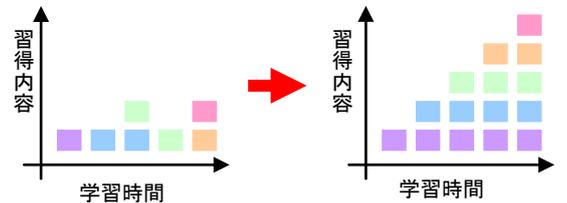


学齢期の支援＝生活能力＋学習能力

●「ほっとルーム」の学習支援

学齢期になると勉強に対する要望が高くなります。やみ雲に学習したのでは結果があらわれにくいものです。各自の**特性に応じた習得手段**が必要です。

当事業所では学習を療育の手段として用い、コミュニケーションに必要な傾聴力・表現力・習得力・集中力・姿勢保持などの**生活能力**の向上と共に**自己肯定感**を養い、**自立への促進**に努めています。



成長と共に必要な支援は変化します！

お問合せ・ご相談は・・・

ほっとルーム倉敷

〒710-0847 倉敷市東富井 987-10
電話086-427-7500

ほっとルーム倉敷Ⅱ

〒710-0834 倉敷市笹沖 695-1
電話086-427-7540

ほっとルーム倉敷Ⅲ

〒710-0038 倉敷市新田 3057-8
電話086-427-7544



関連施設



パイオン総合教育研究所

・学習塾パイオン

(個別指導)

学ぶ楽しさ、知る喜びを伝えたい

・鹿島学園高等学校

倉敷学習支援センター (通信制高等学校)